



館長だより

山形県産業科学館

令和 6 年 5 月 4 日 (土)

発行 館長 加藤 智 一

館長の独り言

アタッチメント

NHK のとある番組を先取りすると、心理学でいうところの「アタッチメント」とは、ボウルビィによって提唱された愛着理論に基づいています。

愛着は、乳幼児と養育者との間に築かれる基本的な信頼感のことで、乳幼児が自分では対処できないような危機的状態に置かれたとき、あるいは不安を感じるような状況に置かれたとき、養育者との接近を求める形で自己の生存と安全を確保しようと作用する特徴があります。



例えば、お腹が空いたとき、乳幼児は自分の食事を作ることができません。このままの状態が続けば餓死してしまう恐れがあり、養育者に自分の危機的な状態を伝えようと泣くことで、母親はそれに気づき、ご飯を作って食べさせることができるのです。そして、このようなやり取りの中から、養育者は自分に愛情を持っており、自分を守ってくれる存在だという信頼を形成していくのだそうです。

養育者の立場としたら、「イラッ」ときて怒りを覚えることもあるでしょうが、子どもの発達段階におけるこの、アタッチメントは、「保護されているという安心感」が担保されていることで、外の世界へ出ていけるという重要な概念なのだと思います。

生長とともに人間は、しだいに頼ったり頼られたりすることが自然になってきて、より良い人間関係に繋がっていくのですが、幼児期のアタッチメントが正常でないと将来、対人関係のトラブルに繋がりがねないということなのでしょうか。

少子化により、一人の子どもにかかる時間も労力も養育者の人数も増えているはずだと思われがちで

すが、実情は、孤独な養育者が増えており、男性の育休取得率も低いまま。一世帯ふたりの所得も伸びていないのが現状ではないでしょうか。このままでいいはずがない。子育て環境の根本的な見直しが必要なのではないでしょうか。

とは言っても今どうしたら良いの？

とりあえず、子育てに疲れたら、気分転換が必要。お子さんと一緒に産業科学館に来てください。子育て相談はできませんが、ご一緒に遊べる空間と時間をご提供できます。ご来館をお待ちしています。

元素の教室

第 1 回 ケイ素

原子量 28.09
融点 1414℃
密度 2.3296g/cm³
沸点 3265℃

Si



シリコンウェハー

地球の地殻に含まれる元素の中で、酸素に次いで 2 番目に多いのがケイ素 Si です。スマホやパソコンなどに必ず入っている半導体は、シリコンウェハー上に作り込まれた集積回路 (IC、LSI) のチップが含まれています。シリコンウェハーとは、高純度なケイ素のウ

ェハーで、ケイ素のインゴットを厚さ 1mm 程度に切断して作られます。ケイ素はその他にも、石英ガラス SiO₂ としても多く利用されており、耐食性、耐熱性に優れ、非常に透明なので、理化学用途や光ファイバーの材料などに用いられています。

当館では、(株)SUMCO 米沢工場様が、シリコンウェハーをテクノクオーツ(株)様、東ソー・クオーツ(株)様が石英ガラスを山形サンケン(株)様、(株)東根新電元様がそれぞれ半導体の展示をされており、現物を見ることができます。